

KIEF NEWS

No.87 2021.3

TOPIC

- P1 乳幼児健診・赤ちゃん訪問通訳サポートボランティア育成事業
- P2 事業報告
- P3 国際交流員事業
- P4 お知らせ

★TOPIC 1 乳幼児健診・赤ちゃん訪問通訳サポートボランティア育成事業

金沢市では、外国人住民が増えるにつれ、国際結婚や家族の呼び寄せなどで、妊娠、出産、子育てをする外国人も増えてきました。特に日本語の不自由な外国人保護者にとっては、異国での出産や育児に、不安や戸惑いを感じる方も少なくありません。そこで、当財団では、金沢市内の福祉健康センターで行われる乳幼児健診や外国人保護者の自宅へ赤ちゃん訪問をする際に、コミュニケーションを支援するボランティアを育成しようと、昨年8月～9月にかけて3回にわたり、必要な知識や基礎的なスキルを学んでいただく「乳幼児健診・赤ちゃん訪問通訳ボランティア育成セミナー」を初めて開催しました。

第1回 外国人母子保健の現場で通訳ということ

8月22日

第1回は「外国人母子保健の現場で通訳ということ」と題し、甲南女子大学教授・医療通訳士協議会会長を務めておられる中村安秀さんにご講演いただきました。「医療は文化である」という視点から、単に言葉を通訳するだけではなく、異なる文化や習慣の違いを認識し、宗教上の行為を尊重することの大切さや、特に来日3年以内における出産の家族については、カルチャーショックの時期にあることに配慮した上で接することの重要性などについてお話しいただき、日本に暮らす外国人母子の置かれている現状や課題について理解を深めました。その他に、外国人住民が日本で子育てする際に役立つウェブサイトや外国語版母子健康手帳などの有益な情報をご紹介いただきました。



講師の中村安秀さん

第2回 通訳者としての心構え

9月5日



講師の二見茜さん

第2回は「通訳者としての心構え」と題し、東京医科歯科大学医学部付属病院の二見茜さんにご講演いただきました。ご自身の医療通訳者としての経験から、外国人母子保健での通訳をするにあたり、必要な知識やスキル、活動に伴う責任やコミュニケーションのコツなどについてお話しいただき、クイズやビデオでの通訳の実例を見ながら、守秘義務を遵守しなければいけないことを学びました。「通訳者としての当たり前は、支援対象者にとって当たり前ではない。支援者の声に耳を傾けることが大事だ」ということを特に強調されていました。最後に、二見さんがおすすめする英語表現のテキストや通訳時に必要な持ち物、単語帳の作り方など実践的なアドバイスもいただきました。

第3回 通訳に必要な通訳技術

9月12日

第3回は「通訳に必要な通訳技術」と題し、大阪府国際交流財団の林利樹さんにご講演いただきました。保健師と外国人保護者の間で行う通訳のことを「逐次通訳」と言います。発言内容を正確に記憶する「リテンション」や聞いた内容を正確に記憶して繰り返す「リプロダクション」「ノートテイク」の具体的な方法について教えていただきました。また、情報収集方法として、保健所、福祉健康センターに向かうことや、国内外の子どもの予防接種の種類やスケジュールについて把握しておくことなどの重要性についてご指摘がありました。受講者は、具体的な場面でのノートテイク演習や、乳幼児健診や予防接種時における具体的な会話内容を保健師・保護者・通訳者の3役に分かれてロールプレイを行いました。



講師の林利樹さん

★ TOPIC 2 事業報告

オンライングローバルキッズセミナー【オンライン開催】

国際感覚を持つ人材の育成に資するため、次世代を担う子ども達を対象に金沢在住の留学生や外国人市民に講師になっていただき、料理やクラフト、ゲームなど体験型の文化交流プログラムとして例年実施していた「体験型グローバルキッズセミナー」、今年度はコロナウィルス感染拡大防止対策としてオンラインで開催しました。

8/19(水)第1回はバングラデシュ出身

のザナタンさん、同日第2回は中国出身のミョウさん、8/20(木)第3回は台湾出身のウインさん、同日第4回はインド出身のナティラさん、8/24(月)第5回はパキスタン出身のアリさん、同日第6回はスリランカ出身のニラクシさんといった、バックグラウンドが多様な方々に講師を務めていただきました。講師の出身地の紹介から、食べ物や学校生活などについて、日本と出身地の共通点や相違点などを写真で分かりやすく教えていただきました。

「英語の会話は難しかったけれど、面白かった」「普段外国人と接する機会がないので、もっとたくさん会話をしたいと思った」「色々な国の食べ物や行事などを知ることが出来て楽しかった」と、子どもたちからは良い反応が得られました。



第1回
ザナタン・ネヤマ先生(バングラデシュ出身)



第2回
口・ミョウ先生(中国出身)



第3回
西本ウイン先生(台湾出身)

かなざわ国際交流まつり2020開催

北陸最大級の国際交流イベントである「かなざわ国際交流まつり」は、市民が世界の文化、国際協力活動などに身近にふれあい、親しむことで、国際理解や市民レベルの国際交流を促進するとともに、金沢で暮らす外国人市民と日本人市民が同じ地域社会の一員として相互理解や交流を深めることにつながる機会を提供していくことを目的に毎年開催しています。

当財団では昨年4月以降、新型コロナウイルスの影響下での実施の可否を検討してきましたが、例年どおりの規模で開催することは難しいものの、必要な感染防止策を講じた上で、各団体にご協力いただける範囲で開催するという結論に至りました。

今回は10月10日(土)・11日(日)に市役所前広場で開催しましたが、市内の多くの国際交流関係団体(27団体)の参加協力を得ることができ、無事に28回目を迎えられました。当日は好天にも恵まれ、たくさんの市民の方にご来場いただきました。「グルメブースの出店がなく寂しい」との声も聞かれましたが、参加団体の方からは「楽しく活動できた」との報告もありました。来年度もウィズコロナを念頭にできる限りの対策を講じ取り組んでいきたいと思ひます。



体験ブースの様子



パネル展示の様子

留学生のための金沢文化体験イベント

12/5(土)「押し寿司づくり・金箔貼り体験」

金沢で祭りや婚礼などの“ハレ”の日に食べられる伝統の押し寿司「笹寿司体験」と、国内の生産量約99%以上を誇る、金箔を使った「箔貼り体験」を行いました。「笹寿司体験」は、東山にある「金沢寿司」で、カニ、サーモン、レンコンなどを使った笹寿司を作りました。留学生は初めて作るお寿司にとっても満足そうでした。「箔貼り体験」は、塗り箸に自分がデザインした金箔を貼るというものでしたが、金箔が飛ばないように息を殺して、黙々と作業をすること30分、それぞれ独創的なデザインのお箸が出来上がりました。



金箔貼り体験

1/17(日)「金沢芸妓の舞鑑賞・友禅染体験」

金沢の茶屋街で、現在まで引き継がれている芸妓による踊りや太鼓の公演「金沢芸妓の舞」鑑賞と、金沢で長年受け継がれている日本の着物の染色技法の一つ「加賀友禅のハンカチ染め体験」を行いました。「金沢芸妓の舞」は、県立美術館ホールで鑑賞しましたが、初めて見る芸妓さんの踊りや太鼓演奏にみなさん魅了されていました。また、観覧者も参加できる「お座敷遊び」の『とらとら』に留学生も挑戦しました。その後、小將町にある加賀友禅会館で、兼六園のこじ灯籠や、桜のデザインが施される型紙を使って、ハンカチ染め体験を行いました。留学生は慎重に筆を運び、赤や青、緑や紫色など鮮やかにハンカチを染めていました。



友禅染体験

★ TOPIC 3 国際交流員事業

9月30日 中国蘇州・西安オンラインツアー

コロナ禍で思うように外出できない現状を受け、自宅にいなから旅行の疑似体験ができる「中国蘇州・西安オンラインツアー」を開催しました。

中国出身国際交流員の田玲さんがツアーガイドとなり、5泊6日の実現可能な旅程を組んで、おすすめの観光スポットやご当地グルメを紹介しました。

参加者からは、「中国へ旅行に行きたかったのにコロナで行けずがっかりしていた中、実際に旅行したような気持ちになれた」「また他の地域でもやってほしい！」と好評でした。

ちょうど中国の秋のお祭り中秋節の時期で、この時期にしか見られない光景や中秋節の習慣についても話していただき、内容の濃い1時間となりました。

壮大で長い歴史を持つ中国という国の魅力、その文化財や食の素晴らしさを田さんの名ガイドにより楽しく知ることができました。



12月19日 ベルギーのラーニさんと親子でクリスマスクッキング！



小学生とその保護者を対象に、クリスマスをテーマにした料理教室を開催しました。ベルギー出身の国際交流員ヴェレルン・ラーニさんが講師を務め、ベルギーに伝わる独自のクリスマスの物語やクリスマスの習慣についてお話ししました。今回のメニューは「ミートボールトマトソース煮込み」「バイクドポテト」「ベルギー風バナラプリン」の3品。トマトソースはたっぷりの野菜を数種類のハーブで香りづけし、ラーニさん自慢のベルギー風プリンはとろとろ柔らかいものを温かいまま頂くという日本のものとは一味違った味わい！現代のベルギーでは、クリスマスは家族団らんのひとときを過ごす家族のイベントとなっているそう。それに倣って、一からお料理してそれぞれ親子の時間を楽しみました。

国際交流員学校訪問

当財団では、市内の小・中学校や地域団体に、国際理解に関する授業をする際の講師として国際交流員を派遣しています。（現在はアメリカ・ベルギー・中国・韓国からの4名の国際交流員）

新型コロナウイルスにより従来の形での実施が難しくなった今年度は、城南中学校と協力し、初となる「オンライン学校訪問」を12/7(月)に実施しました。

学校側には各クラスにipadを配置して頂き、オンライン会議ツールzoomを使用して行いました。城南中ではSDGsについて学習しているということで、国際交流員もそれぞれの国のSDGsの取り組みを紹介しました。生徒の皆さんは海外の実施例を知ることで、より理解を深めることができたようですし、積極的な質問も出て、離れていても双方向の授業を行うことが出来ました。



新国際交流員の紹介 ●韓国出身 金世英（キムセヨン）さんからのメッセージ



皆さん！アンニョンハセヨ！（こんにちは！）

はじめまして。韓国の国際交流員、キムセヨンと申します。私は韓国の首都ソウル出身で、大学で日本語を専攻しました。日本語を勉強すればするほど、日本の言語や文化などにますます興味が高まり、日本で生活してみたいという夢を持つようになりました。その夢が叶って、そして、初めての日本生活が金沢で本当に嬉しいです。大切に伝統を守り続けながら現代的な建物もたくさんある金沢での生活だなんて、想像だけでワクワクしています。

私の趣味は、特に食べるのが大好きで、有名なものを食べるに旅に行ったり、美味しいものを食べてストレスを発散したりしています。これから金沢の新鮮な海の幸や名物料理が食べられるのも楽しみです。

これから国際交流員として色々な仕事が始まりますので不安もありますが、日本と韓国の架け橋として頑張りたいと思っています。皆さん！どうぞよろしくお願いたします。カムサハムニダ！（ありがとうございます！）

★ TOPIC 4 お知らせ

国際交流団体活動予定

独立行政法人国際協力機構（JICA）北陸センター

●NGO等向け事業マネジメント研修【オンライン開催】

日時：【計画・立案編】4月16日（金）9:30～17:30

【モニタリング・評価編】4月17日（土）～18日（日）

両日とも9:30～17:30

内 容：NGO等向けに、草の根技術協力事業等の実施に際して必要となる、開発途上国における事業の運営能力強化を目指す研修

詳細・申し込み：https://www.jica.go.jp/hokuriku/event/2020/20210210.html

問合せ：佐野 TEL：076-233-5931 E-mail：jicahric@jica.go.jp

石川インド協会

●2021国際ヨガの日 in 石川

日時：6月20日（日）10時～16時

場所：宝円寺（金沢市宝町6-14）またはオンラインでの参加

内 容：オンラインヨガ（60分） 坐禅体験（40分）

宝円寺では、インドのチャイや雑貨販売、サリーの着付けあり

問合せ：井上道代 TEL：090-7745-5206

E-mail：rem.7309150@gmail.com

(公財)石川県国際交流協会

●外国人のための法律相談

日時：行政書士 毎月第1、第4木曜日／弁護士 毎月第3木曜日
13:00～13:30 または 13:30～14:00（原則、お1人様30分）

内 容：ご家庭、職場での悩みごと、生活上での困りごと、在留資格に関する事など、幅広い相談に応じます

(内容例) 国籍、ビザ、在留資格、国際結婚・離婚、相続、税金、
保険・年金、労働・賃金、債務、交通事故など(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語など
※事前予約要

場 所：石川県国際交流センター（金沢市本町1-5-3 リファール3F）

問合せ：山田 TEL：076-262-5932 E-mail kikaku3@ifie.or.jp

市民サークルアジュール塾

●世界フェアトレード月間フェスタ

日時：5月22日（土）

場所：金沢市役所前広場

内 容：フェアトレード商品の紹介と販売、広報活動

問合せ：森真理子・中谷美世子 TEL：076-268-0528

(フェアトレードショップ アジュール内)

E-mail：asyl45ft@leaf.ocn.ne.jp

NPO法人 世界の砂漠を緑で包む会

●世界の植林活動

内 容：4月にエチオピアで住民や小学生に対する環境教育、7月に砂漠化が激しい山林に6万本植林、中国内モンゴルのゴビ砂漠の総面積800ヘクタールに60万本の植林を予定

問合せ：大沢俊夫 TEL：076-287-0389

E-mail：tutumukai@vmail.plala.or.jp

フィリピン介護士育成パートナー

●bon marché（ボン・マルシェ）

日時：毎月第4日曜（日付の変更あり、事前確認要）

場所：学びの杜のいちカレード（図書館屋外）

内 容：無農薬野菜、ハンドメイド雑貨が販売されるマルシェで、フィリピンに自生する植物ニトを使ったフェアトレード商品「かごバッグ」を販売。古着も収集しているため、協力できる方はマルシェへ（利益の一部は、介護士育成の教育費、施設への寄付として使用）

問合せ：香土（カグツチ）さん TEL：076-254-5542

事務局長就任あいさつ

(公財)金沢国際交流財団 事務局長 中村 弘志



金沢国際交流財団は、1989年の設立以来、市民の国際理解を深める講座や外国人と日本人との交流会をはじめとして様々な事業を展開し、地域の国際化と国際交流の推進に努めてまいりました。

一方、この30年間で、石川県内の大学等に在籍する外国人留学生は約18倍、金沢市内に生活する外国人は約3倍と大幅に増加していることから、これからはこれまでに以上に、生活情報の多言語化など外国人住民の生活をサポートする事業や、外国人住民と日本人住民との相互理解を促進する事業など、多文化共生社会の実現に向けた取組みを積極的に進めていく必要があります。

昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの事業が規模の縮小や中止に追い込まれていますが、ウィズコロナの時代における外国人住民を含めた市民のニーズを的確に捉えた今後の国際交流事業の方向性を見出し、それを着実に実践してまいりたいと考えておりますので、国際交流団体や市民の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

発行・問い合わせ先

KANAZAWA
INTERNATIONAL
EXCHANGE
FOUNDATION

(公財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール2F

Phone (076) 220-2522

F A X (076) 220-2527

URL : http://www.kief.jp

E-mail : kief@kief.jp

